

如ク本月廿八日ヨリ行商ヲ開始シシルカ成須ヲ揚
ゲタル模様ニテ尚サントキツチマンノ方法ヲ以テ全
市ニ亘リ宣傳ヲ爲ス等飽ニ迄ナリテ行シ相利一轉
換セシメント計画中ニ併引導キ嚴重視、祭壇前中
大反響(通)罪候也

持槍一筆星上仕マサ
財不殊暑ヒ去リ心地至清風は人身を撫でハ体共に緊張の候
とはナリ故「表」は愉快にして秋風淋」とは誰が云ひしぞ玉次は春
は浮薄の時であり秋は吳劍なる時を感す真剣此の二字にて
何時如何なる場合に於ても大事を成就せしめりと有り事より
何人とも否大事の出来ぬ事實である更に其オ七吳劍たゞや又事
の如何と其ハ道程の如何とに依つて表はれり行勲を決する七兵
劍之父ホシモ同一ノ行道ならず君等り知れり如く曰連上人は
宗教は吳劍である故12箇多の迫害を切り抜ケて今日を得た
赤穂四十七士は吉良の行ひが道德を世に視した事に憤起し
主従忠節たゞは吳劍なりしが故に法を破り強欲非道の上野
首級をはねて法に殉じた。同清日露戦争には國家の為めと信じて多
数の兵士が敵兵々命を取る勇氣を以て吳劍で遂に勝った。軍は正義
12社会的犯罪者を救す事に軍事委員会を知らねばならぬ。今聞の森
矢シャンの議論は社會正義を蹂躪する角次見本家を反省せし
められた正義の為めに吳劍たゞ當傷者が國家を富むを染めん所